

家畜衛生だより

From 中央家保 馬用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会

新年度 所長挨拶

この度、中央家畜保健衛生所の所長に着任いたしました芦澤です。どうぞよろしくお願いいたします。皆様には平素から家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心より御礼申し上げます。

さて、平成30年9月に岐阜県で発生したCSF(豚熱)は、10府県58事例の発生があり、野生イノシシの感染は12県で確認されています。このような状況のもと、本県におきましても、今年2月17日から飼養豚へのCSFワクチン接種を開始し、3月末までに県の北部地域を中心に141農場、132,212頭の接種が完了したところです。6月までの全戸接種完了に向けて実施して参りますので、皆様の御協力をいただけますようお願いいたします。

また、近隣国においてASF(アフリカ豚熱)が猛威を振るっており、我が国への侵入が大変危惧される状況となっていることから、3月の家畜伝染病予防法の改正により飼養衛生管理基準が強化され、野生動物の侵入防止、エコフィードの加熱などが義務化されることとなりました。伝染病の発生防止のため飼養衛生管理基準の徹底についてより一層の御配慮をお願いいたします。10年前の4/20、宮崎県で口蹄疫が発生し、29万頭もの家畜の尊い命が失われました。今回のCSFでも16万頭もの尊い命が犠牲になっています。このような惨事を二度と招かないよう、皆様の御理解をいただけますよう重ねてお願いいたします。

鶏では、昨年度、国内では高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生はありませんでしたが、近隣国では未だに発生があり、引き続き警戒が必要です。

牛では、豚熱への対応のため、ヨ一ネ病検査を1年延期させていただくことにしました。BVDやEBL対策については引き続き取り組んで参ります。

これからも、当地域の畜産を家畜衛生の分野から精一杯支えて参る所存ですので、よろしくお願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 芦澤 尚義

～令和2年度中央家畜保健衛生所 新体制～

千葉県舎

所長 芦澤 尚義☆
次長 武石 佳夫☆

☆:転入者

【防疫課】

主幹 木下 智秀☆
専門員 木下 喜絵
技師 土肥 世生
技師 斎藤 瞬

【衛生指導課】

課長 猪俣 一陽☆
主任技師 森 浩子
技師 山本 紗友里
技師 不破 友介☆
技師 清田 和花

【庶務課】

課長 山端 晶子☆
主査 渡邊 なな

転出者:森田 秀雄、篠原 栄里子、小川 明宏
藤野 晴彦、小澤 浩子、猪熊 道仁

佐倉庁舎

次長 篠原 栄里子☆

【細菌ウイルス課】

課長 松本 敦子
専門員 橘 美奈子
主任技師 三浦 良彰
技師 畑中 ちひろ
技師 倉橋 浩一☆
技師 高貫 秀幸

【病理生化学課】

課長 平畠 淳
上席専門員 関口 真樹
専門員 小林 大誠☆
主任技師 小山 祐介
主任技師 本多 芙友子
技師 島田 果歩
技師 二井谷 佳代

転出者:島田 純、綿村 崇宏、岡本 みさき
宗像 寛人

定期報告書の提出をお願いします！



提出期限は4月15日となっております

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしくお願いします。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所にご連絡ください。

馬伝染性貧血の検査について

5年ごとに実施していた馬伝染性貧血の定期検査は、全国的な清浄化の進展により実施しなくなりましたが、自主検査については今後も実施します。

※今後も自主検査は実施します。

- ・輸入馬を対象とした自主検査
→着地検査期間中に実施
- ・競走用馬を対象とした自主検査



お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090